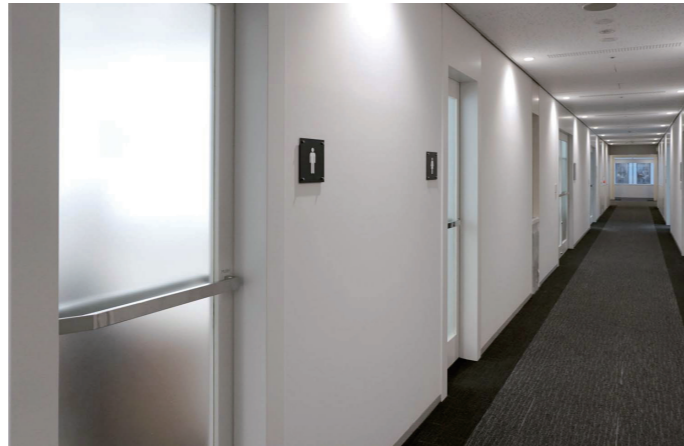


# 兼松ビルディング



## 外観

1993(平成5)年に竣工した京橋エリアに立地するハイグレード賃貸オフィスビル。低層部四方の巨大な柱が、高い意匠性と存在感を誇っている。



## トイレ入口

改修前のトイレの案内表示は、小さな文字のサインだったが、改修後ピクトサインに変更し、利用者にひと目でわかるようにしている。

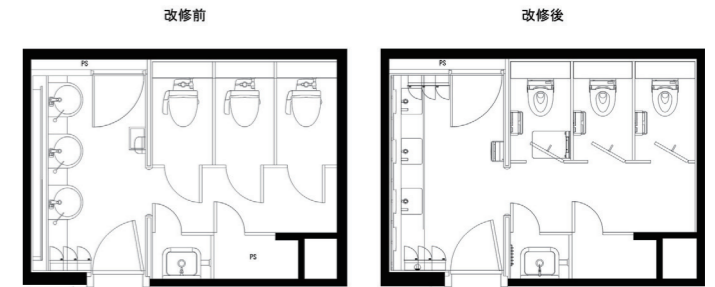


## 女性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーにはデザイン性のよい壁材を採用。間接照明を用いて陰影が映えるようにしている。洗面器はドライエリアが設けられたツインデッキカウンターを採用。

## 女性トイレ図面

既存のレイアウトをいかしながら、小物入れの増設や大便器ブース1ヶ所にフィッティングボードを設置するなど、利用者に配慮したトイレ空間へと改修した。



## 女性トイレ スタイルングコーナー

入居テナントの女性ワーカーからの要望を反映し、洗面器の並びに身だしなみが整えられるようスタイルングコーナーを新設。小物入れも増設された。顔映りがよいLED照明付鏡を採用している。



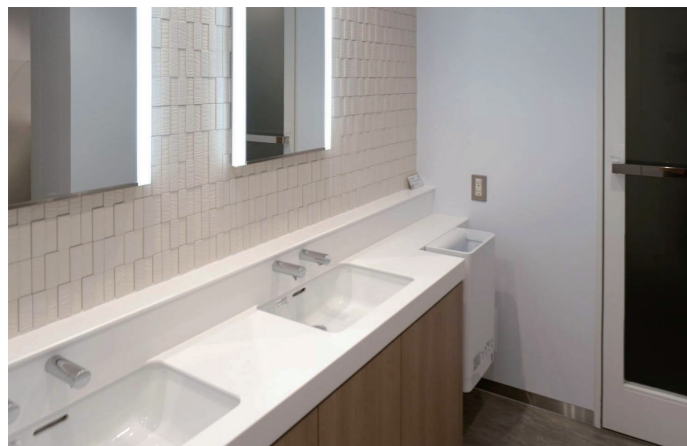
## 女性トイレ 大便器ブース

清掃性のよい壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。ウォッシュレットPSとボタンを押すたびに発電するエコリモコン、小物が置ける棚付きの紙巻器を設置している。



## 女性トイレ 大便器ブース

女性ワーカーに配慮し、大便器ブース内に1ヶ所、着替えができるフィッティングボードを設置している。



## 男性トイレ 洗面コーナー

カウンターの並びにクリーンドライ(ハンドドライヤー)を設け、手洗い後の水垂れを軽減できるように配慮している。



## 男性トイレ 小便器コーナー

小便器は、清掃性のよい壁掛式の自動洗浄小便器を採用。利用者に配慮して、小便器の間に圧迫感を感じないように上部を斜めにカットした間仕切りを設けている。さらに、傘や杖などの荷物配慮としてフックを設置。



## 改修前

築27年を経過。老朽化が目立つとともに、利用者からは、「小物入れが足りない、小便器が使いづらい」など改善要望が出ていた。大便器は床置きタイプを採用していた。

## 水まわりの特長

### 改修の経緯

「兼松ビルディング」は、1993(平成5)年に竣工した、外観・設備共にハイグレードな賃貸オフィスビル。商業・金融のまち日本橋と銀座の中間に位置する東京・京橋エリアに立地する。このたび築27年が経過し、毎年実施しているテナントアンケートで要望の高かったトイレ空間の改修を実施した。将来のリニューアルも見据え、器具交換だけではなく、内装もあわせて一新。最新のトレンドを反映させるために、新築ビルのトイレを参考に事前の検討を重ねながら改修を実施し、再開発著しい京橋エリアのハイグレードな賃貸オフィスビルにふさわしいトイレ改修が実施された。

### トイレの特長

基準階フロアでは、上のフロアから順番に改修を実施。改修前は利用者から「小便器が埋め込みタイプなので使いづらい」「小物入れが足りない」などの改善要求が出ていた。改修にあたっては、利用者に配慮し、最新器具に入れ替えることで使い勝手を向上。すべての大便器は床置きタイプから壁掛けタイプに変更し清掃性を向上。ブース扉も外開きから、内開きに変えたことで安全性を向上させた。さらに、女性トイレでは、スタイルングコーナーや小物入れを増設するなど利用者への配慮をより充実。1ヶ所のブースにはフィッティングボードを設置し、着替え配慮も追加された。また、男性トイレの小便器には間仕切りを設け、プライバシー配慮を充実させている。

## 建築概要

名称	兼松ビルディング
所在地	東京都中央区京橋2-14-1
施主	日本プライムリアルティ投資法人、第一生命保険株式会社
設計	東京不動産管理株式会社
施工	東京不動産管理株式会社
改修期間	2020年9月～2021年12月(予定)
敷地面積	1,753.85㎡
延床面積	15,547.98㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階、地上13階

## おもなTOTO使用機器

大便器ユニット:UTNCAA / 棚付二連紙巻器:YH701  
 小便器ユニット:XPUTNUFN / 洗面器ユニット:UTNLBC  
 フィッティングボード:YKA41系 / フック:YKH22  
 LED照明付鏡(化粧照明タイプ):EL80016、EL80017